

# 日本共産党の竹田えつ子です こんにちははニュース 議会報告

No.200 2022年11月1週



くらしのご相談事  
いつでもお声かけ  
ください。

10月29日(土) 大芦小学校体育館 か みんなの会」主催の「子ども  
で、「これでいいのか 鴻巣 小学 地域 に光を シンポジウム」  
校 廃校・さら地 新しい教育環境 が開催され、参加してきました。  
を考えるみんなの会(これでいいのか

## 「適正規模・適正配置」というのが何 をもつて適正な規模・配置というか

「これでいいのか」 問題提起。「地域の防災拠点  
んなの会」 共同代表の 点やコミュニティーとし  
芦小PTA会長は、一人 での小学校の役割」「児  
の教師が一人一人の子ど 童や保護者・地域住民が  
もとしつかり向き合える 一体となった地域活性化  
適正人数は何人なのか、 に向けて、広く市民の  
子どもたちが、クラス全 意見を集めた取組が行わ  
員の仲間とお互いに理解 れる契機としたいと発言  
し合い尊重しあえるのは しました。  
何人が適正なのか、と問

## 「子どもと地域の将来像示さねば …」の課題を頂いた

大芦小学校ファンクラ は大変、何とかせねば」  
ブ会長は、かがやき5月 と。子どもと地域の将来  
号を見た子ども達の嘆き の為に、人口を増やす政  
策の実行、鴻巣市に転入  
「パパ大芦小が廃校にな 策の実行、鴻巣市に転入  
ってしまつて本当？そ 策の実行、鴻巣市に転入  
れでいいの？」それを聴 策の実行、鴻巣市に転入  
いた老人が目覚め「これ 策の実行、鴻巣市に転入  
した。」

## 「地域の中心となる小谷小学校」

小谷小百周年実行委員 メリットを豊かな教育に  
長は、小規模ならではの 生かしている。「校庭の

# 鴻巣市が進める「小・中学校適正規模 及び適正配置」について考える



## 「小さな学校」「小さなクラス」が世界 の流れ

元吹上富士見&鎌塚保 先」している。WHO  
育所長は、(学校の)統 (世界保健機構) は、学  
廃校の本当の狙いは「コ 校規模は100人を上回  
スト削減」です。「教育 らないことを日本へ勧告  
は未来への投資である」 (2013年) している  
の言葉通り、世界はコス と強調しました。  
ト削減よりも「教育を優

## 学習意欲や態度が積極的、子ども達の 人格形成人間的成長にとっても効果的

日本では、子どもの自 ス」ほど学習意欲や態度  
殺・いじめ・落ちこぼれ が積極的になり、子ども  
が著しいことが、WHO たちの人格形成・人間的  
が改善を求めた理由であ 成長にとっても効果的  
り、諸外国では、「小 さ あると実証されている強  
な学校」「小さなクラ 調しました。

## 「小規模校」は世界の常識

文部科学省の調査で、 切にされる環境こそ求め  
9年連続で不登校児童生 られます。「小規模校」  
徒が増え、いじめは最多 は世界の常識です。実現  
となつていきます。 の為に声を上げていきま  
一人一人の子どもが大 しょう！



## 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金について

市から議員への情報提供、市のHPより抜粋してのお知らせです  
対象世帯は8000件を想定、この規模(件数)の11月中の給付は、埼玉県内で最速です。  
職員の皆さんが頑張っています。

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対し、1世帯あたり5万円を支給するものです。2022年10月31日(月曜日)より対象世帯の世帯主あてに確認書を順次発送しています。



### 支給対象となる世帯

#### 1 住民税(均等割)非課税世帯

(1)基準日(2022年9月30日)において、世帯全員の今年度分の住民税(均等割)が非課税である世帯。

(2)住民税が課税されている方の扶養親族のみの世帯ではないこと。世帯の全員が、住民税が課税されている他の親族等の扶養を受けている場合には、支給対象外となります。

また、「租税条約に基づき課税を免除された結果、均等割の額が0円となった者」は本給付金の対象とはなりません。

#### 2 家計急変世帯

(1)予期せず家計が急変したことで収入が減少し、世帯全員が住民税非課税相当となった世帯。

(2)世帯員全員のそれぞれの年収見込額(2022年1月から12月までの任意の1か月収入×12倍)が市民税均等割非課税水準であること。

#### 3 振込予定日 確認書該当世帯は11月15日(火)

10月27日、「鴻巣市地域公共交通会議」で検討、承認された内容について、市から議員への情報提供がありましたので、今回は抜粋して「このす乗合タクシー」についてお知らせします。

「乗合タクシー」は、市民であれば誰でも登録・利用できます。大変好評で昨年度は2万1331人が利用しています。例えば、北里大学メディカルセンターに行く場合、70歳以上の方、難病・障害者手帳にある方、要介護・要支援認定者・妊婦さんは300円で利用できます。(1人乗車も可)

### 「このす乗合タクシー」について承認された内容(来年度より)



(1) 車両の変更・セダン車 現在の4台のうち3台について車両を入替え、福祉車両を導入する。利用者の乗降時のサポートは同乗する介助者が行う。ワゴン車 現在ハイエースワゴンで運行しているが、6人以上の乗合はほぼないことや、車体が大きく自宅前の配車ができないケースがあることからミニバンサイズ的車種に変更する。さらに、ハイブリッド車とすることで、燃料費分の委託料削減を図るとともに環境への取組を推進する。

(2) 小・中学生はこれまで200円でしたが、子育て支援割の導入 小・中学生とその保護者が同乗する場合、小・中学生の運賃を無料とする。

(3) 予約件数の拡大 1人あたりの予約件数を現在の4件から6件に変更する